

平成 28 年 度 事 業 報 告 書

(期間：2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日まで)

法人の名称 特定非営利活動法人 ダイヤモンド・フォー・ピース

1 事業の成果

平成 28 年度は①啓発事業、②自立支援事業において活動の幅を広げることができた。特に、②自立支援事業において、パイロットプロジェクトを実施するリベリアにおける 2 回の現地調査、現地法人を設立できたことは大きな一歩であった。主な事業内容は以下のとおりである。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 啓発事業

ア ウェブサイト、SNS、メールマガジンによる啓発活動

・内 容

日本語・英語ウェブサイトの充実を計った。両ウェブサイトおよび、SNS(Facebook ページ、Twitter)上で、ダイヤモンドを取り巻く課題に関する情報や独自記事(14 記事)、海外メディアの翻訳記事(12 記事)を掲載・配信した。

・従事者人員 13 人

・受益対象者 当法人のウェブサイト、Facebook ページ、Twitter アカウントにア
ク

セスする者及びメールマガジン受信者 のべ 97,911 人

・支出額 0 円

オンラインの媒体	投稿数/配信数	リーチ数(訪問数)	ウェブサイト 閲覧数(PV)数
日本語ウェブサイト	43	25,360	39,073
英語ウェブサイト	9	26,941	31,495
Facebook ページ	126	19,852	
Twitter	171	23,792	
メールマガジン	15	1,966	
合計	379	97,911	70,568

イ 講演・講義活動

- ・内 容 企業、学校等でのダイヤモンドに関する課題についての講演・講義の実施
- ・日 時 2016年10月～2017年2月
- ・場 所 各講演先
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 受講者 35人
- ・支出額 0円

#	年月	演題	主催	講義講演者	受講者数
1	2016年12月	「2016年度 第8回進路開拓セミナー（国際協力編）保健医療分野におけるキャリアパス」	国際協力機構（JICA）	相田華絵 （理事）	15名
2	2017年2月	「フェアなダイヤモンドの実現を目指して」	さいたま新都心ロータリークラブ	村上千恵 （代表理事）	20名
				小計	35名



2017年2月「フェアなダイヤモンドの実現を目指して」での講演

ウ イベント、勉強会の開催

・内 容

当法人の活動紹介・報告、ダイヤモンドを取り巻く課題についての啓発、情報発信。
 アフリカで活動する団体による経験や知見の共有。

- ・日 時 2016年4月～2017年1月
- ・場 所 会議室提供企業、各イベント実施先
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 参加者 97人
- ・支出額 180,220円

◆ 勉強会「世界とつながろう！DFP TALK」

#	開催日	内容	講師	参加者数
1	2016/4/13	ソーシャル・トレーディング・カンパニー～ ビジネスとアフリカのカカオ生産者の持続性と両立を目指して	(株)立花商店 取締役 生田渉	10名
2	2016/6/22	知られてない国・ニジェールの秘密	一般社団法人 コモン・ニジェール 代表理事 福田 英子	11名
3	2016/10/4	西アフリカのしられざるおもてなしの国「セネガル」	アフリカ商会 代表 山田 一雅	17名
4	2017/1/18	DMM.Africa が目指すアフリカでの事業創出について	DMM.com 事業部長 吉岡伸太	14名
			小計	52名

◆ 当法人主催イベント

#	開催日	イベント名	イベント主旨	主催	参加者数
1	2016/8/27	TICAD公式サイドイベント「GO GO Africa」	TICAD開催に合わせて、アフリカやアフリカの課題について楽しく知ってもらう機会の提供	当法人	45名



2016年8月「GO GO Africa」の様子



2016年6月の「DFP TALK」の様子

エ キャンペーン活動

・内 容

アンゴラのダイヤモンド採掘地域で行われた拷問 500 件、殺人 100 件の証拠を集め、書籍『ブラッド・ダイヤモンド』で告発し、アンゴラ裁判所から有罪判決を受けたジャーナリストの判決取り消しを求める署名活動、「ジャーナリストへの有罪判決の取り消しを！～アンゴラのダイヤモンドの不都合な真実を暴き有罪判決を受けた、ラファエル・マルケス・デ・モライス氏に対する判決取り下げを求めます～」を昨年度から引き続き実施（日本語及び英語）。特に、海外からの署名数が増えており、2017年3月末までに、907筆の署名（2015年8月のキャンペーン開始からの総数）があった。

1,000 筆に達した時点で再度、アンゴラ大使館に提出する予定である。

- ・ 日 時 2016 年 4 月～2017 年 3 月（継続中）
- ・ 場 所 当法人事務所
- ・ 従事者人員 3 人
- ・ 受益対象者 直接受益者：ラファエル・マルケス・デ・モライス氏及びモライス氏

への有罪判決取り消しに従事している者 約 30 人

間接受益者：署名者 907 名

- ・ 支出額 0 円

☆ キャンペーンページ

The image shows a screenshot of a change.org campaign page. The page is in Japanese and English. The main headline in Japanese reads: "ジャーナリストへの有罪判決の取り下げを！～アンゴラのダイヤモンドの不都合な真実を暴き有罪判決を受けた、ラファエル・マルケス・デ・モライス氏に対する判決取り下げを求めます～". The English headline is "Cancel the sentence against the Journalist". The page includes a progress bar for signatures, a "Sign" button, and social media sharing options for Facebook. A photo of a man in a white shirt is featured on the page. The page also includes a description of the campaign's purpose and a call to action.

オ 「ブラッド・ダイヤモンド～ダイヤモンドをめぐるアンゴラの腐敗と苦悩～」 翻訳プロジェクト

- ・ 内 容

世界第 4 位のダイヤモンド産出国であるアンゴラのダイヤモンド採掘地域で行われた拷問500件、殺人100件の証拠を集めた書籍「Blood Diamond -Corruption and Torture in

Angola」の日本語版発刊のための翻訳プロジェクト。DFP のボランティア 8 名からなる翻訳プロジェクトチームを結成し、156ページにおよぶ翻訳に取り組んだ。本書は、アンゴラ国内の採掘現場における政府・軍関係者、民間警備会社によるダイヤモンド採掘労働者や地域住民への暴力や殺人、人権侵害についての実話であり、日本においてダイヤモンド取り巻く課題について広く啓発するツールとなることを目的としている。日本語版は、当法人ウェブサイトにて2017年5月頃に公開予定。

- ・日 時 2016年4月～2017年3月（継続中）
- ・場 所 当法人事務所
- ・従事者人員 8人
- ・受益対象者 アンゴラ北部で手掘りダイヤモンド採掘労働に従事する者 約10万人
（今年度は未公開のため予定数）
- ・支出額 0円

カ メディア掲載

- ・内 容
ウェブマガジンへの寄稿や新聞、ウェブ等での当法人の活動紹介、及びダイヤモンドを取り巻く課題について掲載による啓発、情報発信。
- ・日 時 2016年4月～2016年10月
- ・場 所 当法人事務所
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 記事を読覧した者 375人
- ・支出額 0円

◆ 掲載記事及び寄稿記事

#	掲載日	記事タイトル	媒体名	閲覧（PV）数
1	2016/4/4	ダイヤモンドの本当の意味を指して	輝く女性のための夢インタビューサイト「Kiala」	375

キ 「ダイヤモンドの課題に関する意識調査」

- ・内 容
1) ダイヤモンド製品を扱う、ブランド及び販売企業に対する意識調査

全国のダイヤモンド製品を扱う、ブランド及び販売企業、117社に書面にてダイヤモンドの人道・環境配慮に関するアンケート調査を実施。10社より返答を得た。

2) ダイヤモンド製品を扱うブランドショップでの覆面調査

東京、ロンドン、サンディエゴにおいて、22のブランドショップの店頭において、覆面調査を実施。婚約指輪などのダイヤモンド製品の産出国や紛争ダイヤモンドを扱っていないかなどの質問を店員に行なった。

3) 一般消費者を対象としたインターネット意識調査準備

次年度、全国の20代～60代の男女1,000人を対象にダイヤモンドの課題に関するインターネット意識調査を実施する予定であり、その調査内容の策定を行なった。

なお、上記の調査結果は「ダイヤモンド白書」としてとりまとめ、発表及び広報する予定。ダイヤモンド白書は日本語版及び英語版を発表する予定。

- ・日 時 2016年4月～2017年3月（継続中）
- ・場 所 当法人事務所
- ・従事者人員 7人
- ・受益対象者 直接受益者：国内外の「ダイヤモンド白書」の読者 約35,000人
（今

年度は未公開のため予定数）

間接受益者：以下の調査協力者

書面調査対象企業 117社、覆面調査対象店舗 22店舗

インターネット意識調査対象者 1,000人（予定数）

- ・支出額 55,485円

② 自立支援事業

ア ダイヤモンド零細採掘労働者自立支援プロジェクト実施に向けての文献・現地調査
・内 容

本年度はダイヤモンド零細採掘労働者自立支援プロジェクト設計のための文献調査に加え、(株)ラッシュジャパンのチャリティバンクの助成を受け、2回の現地調査を実施した。1回目の現地調査（2016年10月～11月）では、6カ所の採掘地域において、手掘り採掘権保有者、採掘労働者とその家族、採掘地域住民の合計70名を対象に、彼らの労働実態調査および生活環境についての聞き取り調査や採掘現場の視察を実施。2回目の現地調査（2017年2月～3月）では、3カ所の採掘地域を訪問し、実際の採掘の様子や労働

環境の調査を実施した。手掘り採掘労働者の生活・労働環境の実態や、彼らを取り巻く社会状況等をより詳細に知る事ができ、リベリアにおけるダイヤモンド採掘から取引までの仕組みなど、沢山の知見を得ることができた。また、2回の現地訪問により、リベリアの土地・エネルギー・鉱山省や組合開発庁、現地のNGOなどの関係機関との関係構築・協議も進み、自立支援プロジェクトの実施に向けて、大きな一歩を踏み出すことができた。今回の成果はプロジェクト詳細内容策定に活かすと共に、広く国内外で共有し、多くの人に手掘り採掘労働者の実態を伝えていき、DFPの取り組み、DFPが目指す社会に向けての共感・協力を呼び込むツールとしても活用していく予定である。

- ・ 日 時 2016年4月～2017年3月
- ・ 場 所 当法人事務所およびリベリア共和国
- ・ 従事者人員 5人
- ・ 受益対象者 プロジェクト対象地の採掘労働者とその家族、現地関係機関の者等
約100人
- ・ 支出額 1,983,092円

採掘権保有者への聞き取り調査の様子



採掘権保有者・労働者達への調査説明の様子



採掘労働者への聞き取り調査の様子



MLME（鉱山省）現地出張所での聞き取り



採掘現場



採掘現場





DFP の紹介ラベルが張られたラッシュのチャリティポット（ハンドクリーム）

イ リベリア現地法人・現地事務所開設及び整備

・内 容

かねてより、自立支援プロジェクトを実施する上での現地法人設立の準備を進めてきたが、2016年10月に現地法人・現地事務所を開設することができた。今後は2名の現地スタッフと共に事務所の基盤整備を進めると共に、自立支援プロジェクト実施の拠点としていく。

Diamonds for Peace Liberia

設立年月日：2016年10月28日

住所：J.M. Kollie's Yard, 1st Avenue, Mandingo Quarter, Kakata, Margibi, Liberia

理事：5名

現地法人スタッフ：2名

- ・日 時 2016年4月～2017年3月
- ・場 所 当法人事務所およびリベリア共和国
- ・従事者人員 7人
- ・受益対象者 リベリア西部で手掘りダイヤモンド採掘労働に従事する者、その家族
及び現地関係機関の者等 約500人
- ・支出額 148,550円



現地事務所として使用する部屋



現地事務所の案内板

